

2024年10月16日

各 位

会社名 フクダ電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 白井 大治郎
(コード: 6960、東証スタンダード市場)
問合せ先 社長室 経営企画部
(TEL. 03-5684-1558)

フクダ電子のAI心電図解析技術、携帯型心電計、在宅医療診療支援システム の3点が、グッドデザイン賞を受賞しました

フクダ電子の「AIによる心電図解析技術」、携帯型心電計「カーディライト/Cardilight ESP-500」、クラウド型在宅医療診療支援システム「f'Rens (フレンズ)」の3点が、公益財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2024年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。

フクダ電子はこれからも社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて医学の発展に寄与するとともに、医療機器専門メーカーとして、安全・安心・快適を基軸として「お客様に信頼される企業」になることを目指してまいります。

1. 受賞製品の概要

「AIによる心電図解析技術」

今までの心電図検査では検出できなかった隠れ心房細動を洞調律心電図からAIを用いて推定する国内初のAI心電計です。ディープラーニングによって心房細動発症のリスクレベルを判定し、リスクが高い場合はホルター等を用いた長時間心電図検査による確定診断を行い、隠れ心房細動の早期発見・治療及び心原性脳梗塞予防の先制医療を目指します。



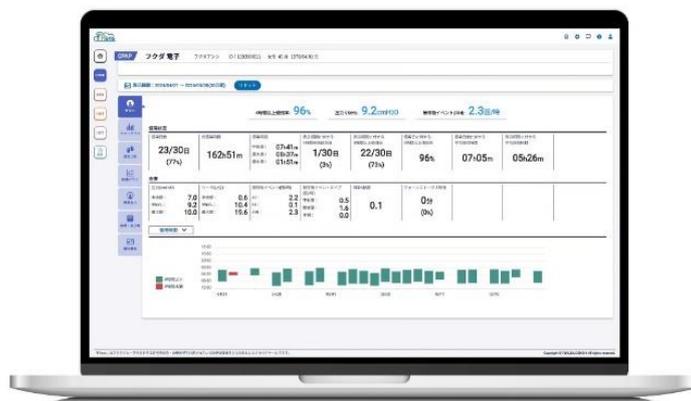
携帯型心電計『カーディライト/ Cardilight ESP-500』

在宅診療施設向けの携帯性に優れた12誘導心電計です。持ち運びしやすいように小型化と軽量化を実現。ボタンの削減による操作性向上やノイズの少ない波形を記録するオートキャプチャ機能、電極はずれや付け間違いをお知らせするサポート機能によって、検査に不安のある医療従事者でも正確な心電図記録が可能です。



クラウド型在宅医療診療支援システム「f' Rens (フレンズ)」

本製品はクラウドを活用し在宅医療診療を支援するシステムです。多数の在宅医療機器の稼働状況や治療データ等をWEBブラウザ上から遠隔で容易に閲覧・管理することを可能にし、効率的でより質の高い診療をサポートします。



2. 審査委員評価コメント

「AIによる心電図解析技術」

本製品は、これまで検出が難しかった隠れ心房細動を拾い上げる、心電図解析技術である。心電計の先駆者でありリーディングカンパニーとして、たゆまぬ改善のみならず、AIの活用など積極的に革新につとめる会社の姿勢も評価のポイントであった。関係者の長年にわたる工夫と努力に、あらためて敬意を表したい。

携帯型心電計「カーディライト/ Cardilight ESP-500」

少子高齢化が進む日本では、ますます在宅医療に対するニーズと期待が広がっている。しかし、病院という設備が整った場所とは違い、在宅という場で診療を行うことは、携帯性と正確性/精密性とのトレードオフ構造を乗り越える必要がある。本製品は、徹底した現場へのヒアリングに基づき、携帯性と機能性/使いやすさを妥協することなく丁寧なデザインがなされており、心電計のトップメーカーとしての矜持が感じられた。関係者の皆様には、深く敬意を表したい。

クラウド型在宅医療診療支援システム「f' Rens (フレンズ)」

いまだ発展途上の在宅医療の現場では、複数メーカーによる多様な医療機器が存在し、いかにして一元的な管理を行うかという課題がある。本製品は、クラウドを活用して遠隔でそれら医療機器の状態を一元的に閲覧・管理することを可能にしたシステムで、在宅医療の発展に寄与するデザインとして高く評価された。2018年に出た前製品からのアップデートであり、関係者の工夫や努力に対し、深く敬意を表したい。

3. グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞は、1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加しています。これまでの受賞件数は51,000件以上にのぼり、受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれています。

以 上